



公益財団法人

日本体育協会



# 次期学習指導要領等に向けたこれまでの 審議のまとめへの意見について



平成28年10月31日

# 学校体育及び運動部活動の重要性

## スポーツ

子どもにとって、生涯にわたってたくましく生きるための健康や体力の基礎を培うとともに、公正さと規律を尊ぶ態度や克己心を培うなど人間形成に重要な役割を果たす

## 学校体育と運動部活動

ほとんどの子どもにとって、スポーツと出会う最初の間であるとともに、生涯にわたる豊かなスポーツライフを実現するための基礎となるもの

(審議まとめにおける「『する、みる、支える、知る』の多様な関わり方」については重要な視点)

●幼少期の運動・スポーツの体験や習慣が、子ども時代の健康や体力だけでなく、大人になってからの運動・スポーツ習慣、健康や体力にも影響を与える可能性がある

**子どもが運動・スポーツに親しむための環境整備は最重要課題**

# 生涯にわたって豊かなスポーツライフを送るために

運動・スポーツを行うことによって、体を動かすことの「楽しさ」を実感することができる

スポーツの価値を理解することができる

生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現するための基礎が身につく

(参考) スポーツは、自発的な運動の楽しみを基調とする人類共通の文化である。(スポーツ宣言日本, 2011)

# 指導上の留意点

## ●スポーツの価値の理解

- ・「スポーツ価値」のダイナミクス
- ・体協フェアプレイニュース、フェアプレイスクール(参考資料)

## ●アクティブ・チャイルド・プログラム(ACP)の活用

- ・小学校、幼稚園での活用事例
- ・アクティブ・チャイルド・プログラムの内容(参考資料)

## ●指導における暴力の根絶

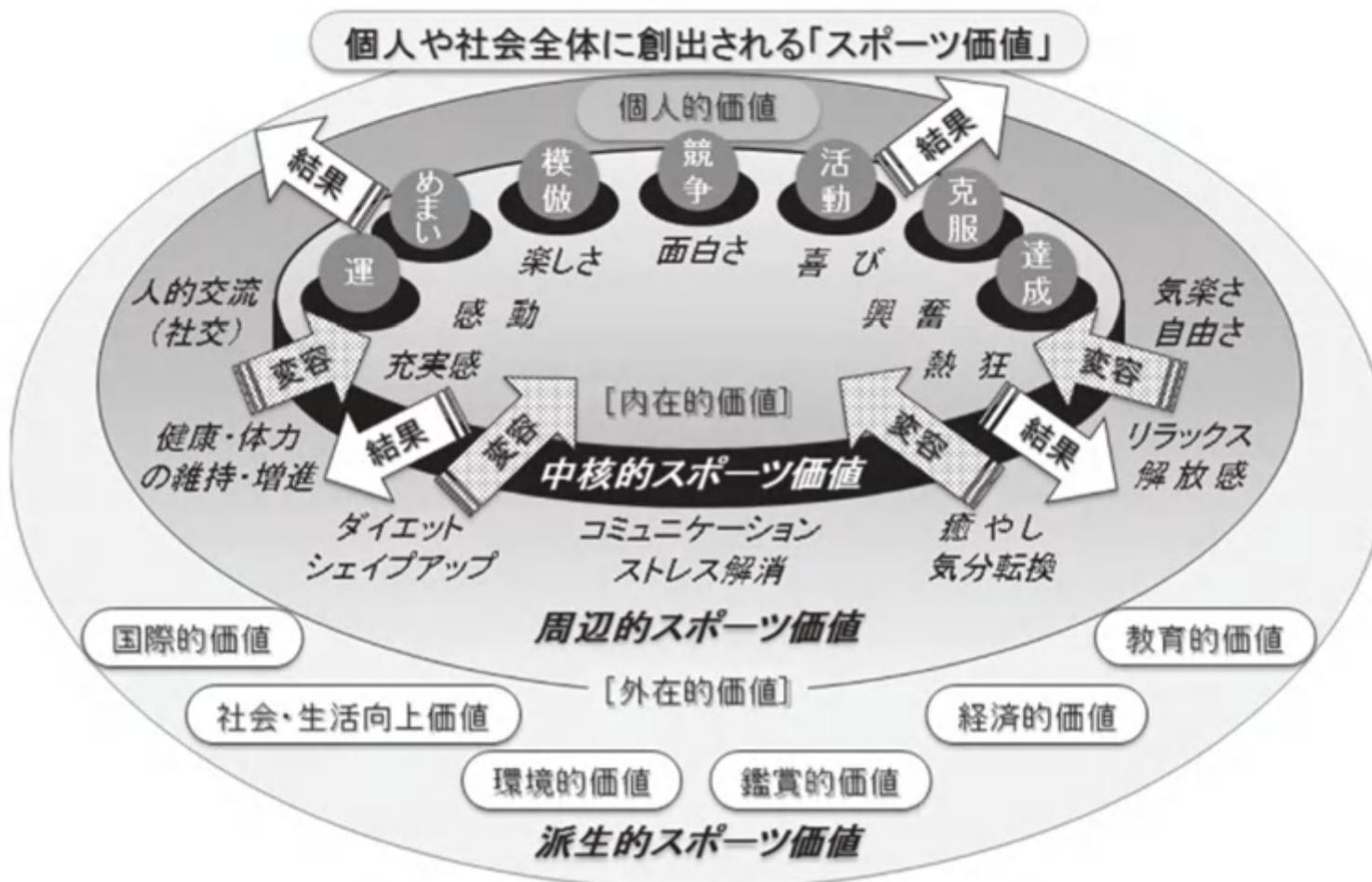
- ・スポーツ界における暴力行為根絶宣言抜粋

## ●「プレイフルネス」の概念と主体的な学び

# スポーツの価値の理解

日本体育協会スポーツ医・科学専門委員会 研究  
新たなスポーツ価値意識の多面的な評価指標の開発(平成26-28年度)

## 「スポーツ価値」のダイナミクス



平成27年度日本体育協会スポーツ医・科学研究報告Ⅲ  
「新たなスポーツ価値意識の多面的な評価指標の開発-第2報-」 P53から引用

**【個人的価値】**スポーツは、

- 人間の本源的な欲求(活動・競争・達成・克服・自己表現)に応え、爽快感や達成感・充実感、楽しさや喜びの体得のほか **→内在的価値(目的的価値)**
- ストレス解消などの精神的充足感や体力の向上、生活習慣病の予防、青少年の健全育成など、心身の健全な発達をもたらす **→外在的価値(手段的価値)**

**【社会・生活向上価値】**スポーツを通じた家族や地域との人間的な交流は、地域への誇りと愛着、連帯感等を醸成し、人間関係の希薄化等の問題を抱える地域コミュニティの再生・活性化につながる。

**【鑑賞的価値】**極限に挑戦するアスリートのひたむきな姿や、競技レベルの高いプロスポーツの試合などは、“みる”人に夢や感動、勇気を与えるとともに、スポーツへの関心や意欲を高める。

**【経済的価値】**スポーツ振興による関連産業の広がりや、新たな需要と雇用を創出するとともに、スポーツによる市民の心身の健康保持・増進、医療費削減等の効果をもたらす。

**【国際的価値】**スポーツによる国際交流は、言葉の壁や生活習慣の違いを超えて、同一のルールの下で互いに競い合うことにより、世界の人々との相互理解を促進し、国際的な友好と親善に寄与する。

**【教育的価値】**「スポーツはよい人間を育てる(礼儀正しさ、マナーや規則を守る、協調性、社会力・生きる力のある人間など)」ことに大きな期待が寄せられている。

# アクティブ・チャイルド・プログラム(ACP)の活用

## 小学校でのACP活用事例

小学校がACP講師を招き、児童にさまざまな運動遊びを体験してもらうことで、からだを動かすことの楽しさを感じてもらう

教員を対象としたACP研修会を併せて開催し、教員にもACPに興味を持ってもらい、体育の授業や休み時間の運動に利用してもらうことを狙いとする

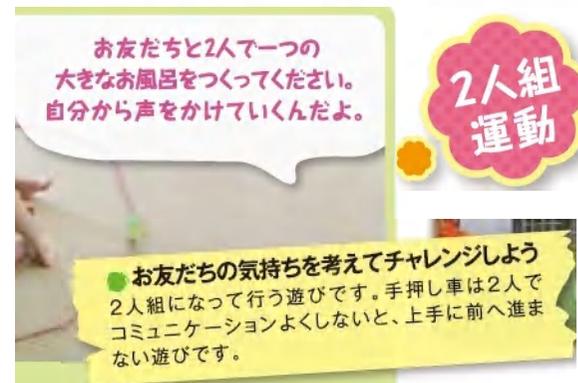


# 幼稚園でのACP活用事例

## 2人で力を合わせて、よーいどん!!

ウォーミングアップ終了後は、2人で力を合わせて、さまざまな運動にチャレンジしました。自分だけではなく、お友達とコミュニケーションをとりながら、体を動かすことを学びます。

幼稚園において、ACPを活用した月1回のスポーツ教室、毎朝の外遊びを実施。年少、年中、年長のそれぞれに合わせた声掛け、指導の工夫を行い、幼児にさまざまな運動遊びを体験してもらうことで、からだを動かすことの楽しさを感じてもらう。



# 指導における暴力の根絶

## スポーツ界における暴力行為根絶宣言※(2013年7月25日)抜粋

### 1. 指導者

- 指導者は、スポーツが人間にとって貴重な文化であることを認識するとともに、暴力行為がスポーツの価値と相反し、人権の侵害であり、全ての人々の基本的権利であるスポーツを行う機会自体を奪うことを自覚する。
- 指導者は、暴力行為による強制と服従では、優れた競技者や強いチームの育成が図れないことを認識し、暴力行為が指導における必要悪という誤った考えを捨て去る。
- 指導者は、スポーツを行う者のニーズや資質を考慮し、スポーツを行う者自らが考え、判断することのできる能力の育成に努力し、信頼関係の下、常にスポーツを行う者とのコミュニケーションを図ることに努める。
- 指導者は、スポーツを行う者の競技力向上のみならず、全人的な発育・発達を支え、21世紀におけるスポーツの使命を担う、フェアプレーの精神を備えたスポーツパーソンの育成に努める。

※本宣言は、日本体育協会、JOC、日本障がい者スポーツ協会、全国高等学校体育連盟及び日本中学校体育連盟の5団体の呼び掛けにより開催された「スポーツ界における暴力行為根絶に向けた集い」において、参加したスポーツ関係者の満場一致で採択されたものです。

# 「プレイフルネス」の概念と主体的な学び

日本体育協会スポーツ医・科学専門委員会 研究  
社会心理的側面の強化を意図した運動・スポーツ遊びプログラムの  
開発および普及・啓発(平成25-27年度)

運動遊びがもたらす心理社会的効果

- ・メンタルヘルスの改善
- ・意欲の強化
- ・社会性の強化

心理社会的効果を高める要素

＜没頭＞

何よりも集中できて、妨害が無い状態

＜自己決定＞

行う内容は自分で決めたこと

＜有能感＞

うまくなっていくという感覚

**プレイフルネス**

＜ルール遵守＞

他者への思いやり、協調性

＜社会的関与＞

友人、保護者との共有感

＜楽しさ＞

面白さ、興味が持てる内容

# 教育環境の充実に向けた協力

- 体育科、保健体育科の改善に向けて、教員養成、教員研修、教材整備等の環境を整えていくことも必要
- 部活動については、一定規模の地域単位で運営を支える体制を構築することが長期的には不可欠。教員の負担軽減の観点を考慮しつつ、地域の人々の協力、社会教育との連携など、運営上の工夫を行うことが必要

## 日本体育協会からの協力

教員養成系大学（保健体育等）における「コーチ育成のための『モデル・コア・カリキュラム』」の導入支援

本会公認スポーツ指導者講習会やACPの教員研修への導入支援（陸上競技、島根県教育庁の事例）

地域からの部活動の運営支援（本会公認スポーツ指導者の派遣や総合型地域スポーツクラブとの連携等）

フェアプレイスクール等のスポーツ価値の理解を促進するための支援

体協フェアプレイニュース

2020年8月29日

# FAIRPLAY NEWS



## 完走よりも大切なこと

**2016年2月高松駅**

5000人以上の一般市民が走る「高知競馬マラソン」が開催された。

事件は12〜13キロ付近で起こった。

80歳のランナーが倒れたのだ。

救急車をお願いします!

救急隊が到着した。

息がない! 危険だ!

何人もランナーたちが次々と集まってきた。

私も手伝います!

これを!

AEDという機械で心臓にショックを与えると...

交代しながら10分以上もが脚に腕を回してマッサージを行った。

警備の白バイ隊員

親切で早ばやい救急のおかげで助かった。

その後、消防本部からの表彰の場で彼らが困ったことが、先走よりも大切なことである。

救急に参加した人も父や母の年齢の間に急に合わず気絶してしまった。

人の役に立てた事がうれしい。見方は素晴らしい人です!

賞状の事をしただけです。

フェアプレイニュースとスポーツニュースの掲載が日本体育協会のキャンペーンホームページでみられます。 [FAIRPLAY](#)

[フェアプレイキャンペーンTOPページ](#) ▶ [フェアプレイニュース&スポーツニュース](#) で見たいニュースをおつけね。

### オリンピックへの道 ソフトボール 濱村ゆかり選手

**目の前のひとつひとつのその先に、東京オリンピックのマウンドが待っている!**

2008年北京オリンピックで日本が金メダルを獲得したソフトボール。その後の2大会ではオリンピック種目から外されてしまいましたが、2020年の東京オリンピックで復活することが決定しました。濱村選手は現在21歳、日本代表チームで最年少のピッチャーです。小学校の頃は男子と一緒に少年野球チームに所属し、中学校に上がるとソフトボールに転向。毎日、プレイすることが楽しくて夢中で練習していたそう。その姿勢は今も変わらないようです。1日1日は今はチャンスであり、ひとつひとつ課題をクリアしていけば、その先にオリンピックは見えてくるはず、と語ってくれました。

### わたしのフェアプレイ 荒賀龍太郎 (空手道)

**人それぞれの戦い方に、敬意をはらう。**

私は、子供の頃から、正々堂々相手と正面からぶつかり合う空手を習いこまれてきました。しかし、特に海外では、ルールギリギリの差別的な技を仕掛けてくるなど、私たちの考える正々堂々といったものとは異なる戦い方をする選手も多くなります。はじめは納得できない部分もありました。そのことを海外の選手に言うと、「講義電話だって進化するだろ? 空手だって変わるんだよ」と、それを聞いた時、私の考え方が遅れていたのだと気付きました。私は、私の価値とする空手を追求していきますが、相手がどんな戦い方をしても、それも空手なんだと認めることも大切なんです。

1990年生まれ、実家が空手道場で3歳から空手を始める。2009年に全日本選手権を制し、2013、2015年にはアジアニア選手権を連覇。世界選手権は前年、翌年と準優勝。最大の武器は、世界最強ともいわれる突き。

日本空手協会の広報誌「スポーツジャーナル」9月号に新しい記事が掲載されています。

フェアプレイニュース 第72号(8月29日) 平成32年8月29日発行

編集・発行: 公益財団法人 日本体育協会 <http://www.japan-sports.or.jp/> 11207000 03-3551-1781(代表)03-3551-1782(編集)

印刷: 株式会社 日本体育協会印刷センター

日本体育協会

# 2016年フェアプレイスクール

スポーツの価値である「フェアプレイ」を理解していただくことを目的に、学校の授業に講師としてトップアスリートや元トップアスリートが登壇し、自身の経験などからフェアプレイについて講義を行い、スポーツ指導も実施。



## <対象>

全国の小・中・高等学校

## <開催時期>

2016年9月～2017年1月(予定)

## <実施条件>

- ・フェアプレイ大賞対象のフェアプレイエピソード作文の事前作成
- ・フェアプレイ宣言を全校で行う

## <派遣講師>

諸条件により調整

## <時期>

9月～1月を目途に13校程度を予定

## <内容>

- ・フェアプレイ講義
- ・フェアプレイエピソード作文の発表、ディスカッション
- ・スポーツ指導体験授業

## <学校事前準備>

生徒へ「日本フェアプレイ大賞2017」の趣旨説明



エピソード作文の作成



スクールで発表する作品の選定

児童期(小学校低～中学年)



(2011年10作成)

幼児期(年中～小学校低学年)



(2015年2月作成)

# アクティブ・チャイルド・プログラムとは、 ガイドブックのすべてを通じた一連の指導法のこと

みんなで遊んで元気アップ! **アクティブ**★ **チャイルド**★ **プログラム**

**1** いつも塾や習いごとで忙しいし、遊びはゲーム、移動はクルマやエスカレーター。でも、**からだを動かさなくていいのかな!**

からだを動かすのって楽しいんだよ。

じっとしてたらストレスたまらない? 太らない?

からだを十分に動かしていないから動作がぎこちなかったり、できなかったり。  
**走る・跳ぶ・投げるという基礎的動き、ちゃんとできてる?**

からだを動かして遊んでいけば、動き(動作)も上手になる。

動きの質ってどうやって評価するのかな?

**3** 楽しみながらからだを動かせる。それがアクティブ・チャイルド・プログラム!  
**さあ、からだを動かして元気になろう!**

運動遊びや伝承遊びを紹介するよ。

楽しいプログラムっていっぱいあるんだね!

本来は好きなことだから、サポートがあれば子どもはからだを動かすもの。  
**からだを動かしたくなるように学校や地域も工夫してるよ!**

励まし合い、助け合う仲間がいる!

上達する喜びが味わえるよ。

★ 補言 子どもの発達段階に応じた運動プログラムの重要性 ..... 1

## 1 子どもの身体活動の意義 5

- ★子どもの体力や身体活動の現状 ..... 5
- ★子どものライフスタイルの問題点 ..... 9
- ★元気な子どもを育むために ..... 10

## 2 基礎的動きを身につけることの重要性 13

- ★適切な量と質を満たした身体活動の重要性 ..... 13
- ★発育発達に個人差と動きの質 ..... 14
- ★動きの質のとらえ方(動きの評価方法) ..... 15
- ★走動作(50m走)の観察評価 ..... 17
- ★跳動作(立ち幅跳び)の観察評価 ..... 19
- ★投動作(ボール投げ)の観察評価 ..... 21
- ★遊びプログラムへの応用 ..... 23

## 3 遊びプログラム 25

- ★運動遊び ..... 25
- ★プログラム例[運動遊び] ..... 27
- ★伝承遊び ..... 47
- ★プログラム例[伝承遊び] ..... 49

## 4 場・しかけの重要性 59

- ★身体活動の習慣化を促すアプローチ ..... 59
- ★体カピカット週間 [小学校] ..... 63
- ★枠小タイム  
一朝のスポーツタイム-[小学校] ..... 65
- ★fun-土/Flags [スポーツクラブ] ..... 67
- ★コダイラスロン [保護者との連携] ..... 69

## 幼児期からの アクティブ☆ チャイルド☆ プログラム

**1**

みんなて遊んで  
元気アップ!

本当はからだを動かすことが大好きな子どもたち。でも、子どもたちがからだを動かせる環境が不足しています。全国のスポーツ少年団が、幼児期から子どもたちを受け入れるよ!

**2**

幼児期は、元気に遊んで多様な動きを身に付ける大切な時期。幼児がからだを動かす意義や、幼児の発達特性について理解しよう!

**3**

身の回りにある道具を使って遊ぶこともできるし、昔から受け継がれてきた伝承遊びを楽しむこともできる。特別なことをしなくても、幼児は夢中になってからだを動かして遊ぶよ!

**4**

幼児に対する指導のコツや、安全のための配慮事項があります。一人ひとりの成長を支援して、楽しく遊ぼう!

**5**

スポーツ少年団や幼稚園の実践事例・振り返りチェックリストを紹介。元気な子どもたちを育むために、情報を共有しよう!

|                                      |           |
|--------------------------------------|-----------|
| はじめに.....                            | 1         |
| <b>1章 スポーツ少年団における幼児加入条件の整備</b> ..... | <b>5</b>  |
| 1. スポーツ少年団の現状と課題.....                | 5         |
| 2. 指導者の役割および指導体制の整備.....             | 7         |
| 3. 育成母集団やリーダーの活用.....                | 9         |
| <b>2章 幼児期における身体活動・運動の意義</b> .....    | <b>13</b> |
| 1. 身体活動・運動・体力の現状と問題点.....            | 13        |
| 2. 幼児期における運動の意義.....                 | 16        |
| 3. 幼児期(3~6歳)の発達特性.....               | 23        |
| 4. 基礎的動きの質的評価(観点).....               | 31        |
| <b>3章 運動遊びプログラムの紹介</b> .....         | <b>35</b> |
| 1. 発達段階に応じた遊びの展開例.....               | 35        |
| ボール.....                             | 37        |
| 新聞紙.....                             | 45        |
| ロープ.....                             | 41        |
| 模倣(表現).....                          | 53        |
| 鬼遊び.....                             | 49        |
| <b>2. 「伝承遊び」の活用</b> .....            | <b>57</b> |
| 押しくらまんじゅう.....                       | 59        |
| すもう遊び.....                           | 61        |
| めんこ.....                             | 63        |
| 紙鉄砲.....                             | 65        |
| 鬼ごっこ.....                            | 67        |
| どんじゃんけん.....                         | 69        |
| ゴム跳び.....                            | 71        |
| Sケン.....                             | 73        |
| <b>4章 幼児の指導法・指導技術</b> .....          | <b>79</b> |
| 1. よい指導者としての観点.....                  | 79        |
| 2. 指導のコツ.....                        | 82        |
| 3. アレンジの仕方や発想.....                   | 91        |
| 4. 安全管理上の配慮事項.....                   | 94        |
| <b>5章 実践事例</b> .....                 | <b>99</b> |
| 1. 指導事例(スポーツ少年団).....                | 99        |
| 2. 指導事例(幼稚園).....                    | 101       |
| 3. 家庭との連携事例.....                     | 103       |
| 4. 指導者と保護者のためのチェック項目.....            | 106       |
| Q&A(よくある質問と回答).....                  | 111       |
| 安全管理チェックリスト.....                     | 巻末        |